



住みよい茨城づくりにむけて ～新年のご挨拶～

茨城県知事
茨城県統計協会総裁

橋 本 昌

新年あけましておめでとうございます。

皆様には、すがすがしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、サッカーのワールドカップやインターハイ、アクアワールド大洗水族館のオープン、そして、野口雨情生誕120周年記念事業など、茨城の魅力为全国にそして世界にアピールすることができた年でした。しかし、その一方では、景気の低迷や雇用の悪化、食品の安全確保が課題となった一年でした。また、年末には、北朝鮮籍の貨物船座礁事故という大変遺憾な事故がありました。

今年は、自然公園大会が霞ヶ浦周辺を会場に開催されます。また、首都圏中央連絡自動車道の一部開通やつくばエクスプレスの試験走行など、発展基盤の整備が着実に進展いたします。

このような話題を活かしながら、今年も、元気で住みよしいばらきづくりを推進してまいります。

まず、景気雇用対策につきましては、国との連携のもと特に力を注いでまいりますとともに、特区の創設など科学技術を生かし新産業の創出を図ってまいります。

また、農林水産業につきましては、生産体制の強化に加え、優れた農産物等を安心して食べられるシステムづくりに取り組んでまいります。

今年は、いばらきブロードバンドネットワークが供用を開始しますので、産業面はもとより、県民生活の幅広い分野で活用を図り、IT先進県を目指してまいります。

こうした施策とともに、安心して子どもを生み育てることのできる環境づくりや高齢者の介護予防、県民総ぐるみでの健康づくりなど、福祉・医療の充実に努めてまいりますほか、環境の分野では、霞ヶ浦環境センター（仮称）の着工、循環型社会の構築などを進めてまいります。

また、教育の面では、少人数指導の拡充や、学校・家庭・地域の連携による各種体験活動の充実を図り、21世紀を担う心豊かな人づくりを推進してまいります。

このような施策を総合的に推進していくためには、的確な現状把握と将来予測が不可欠であり、その基礎資料となる統計の果たす役割はますます重要なものとなってきております。

県といたしましては、正確かつ迅速な統計情報の収集に努めるとともに、県民の皆様にもいつでも簡単に利用していただけるよう、インターネットなど各種のメディアを活用した、わかりやすく使いやすい統計情報の提供に力を入れてまいりますので、統計調査へのご支援、ご協力をお願い申し上げます。

皆様方の一層のご健勝、ご活躍をお祈り申し上げまして、新年のご挨拶といたします。